

令和3年度

第3回 肝臓病教室

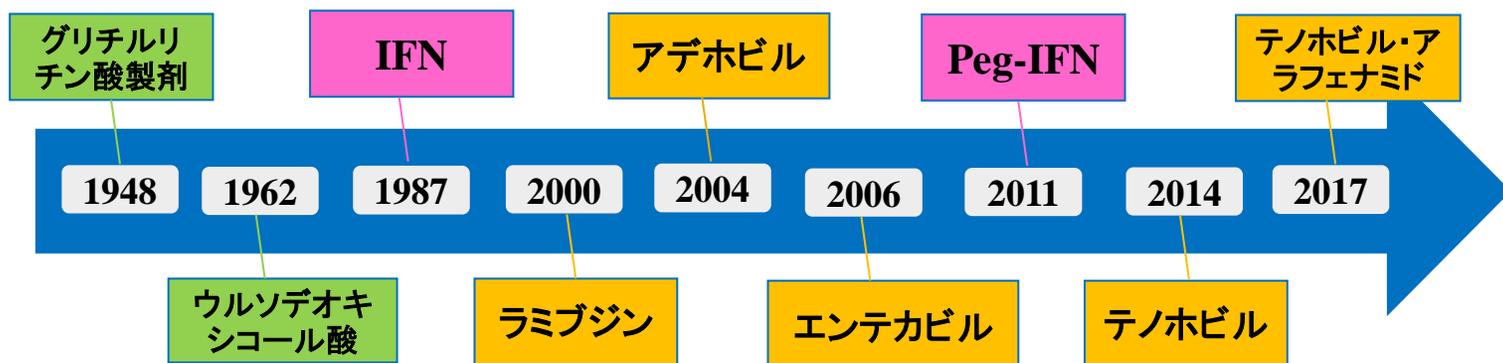
新聞版

HPで動画配信した「肝臓病教室③」の新聞版です！

「肝臓病とお薬」

薬剤部 薬剤師

今回は主なB型肝炎治療薬の特徴についてご紹介します。下図はB型肝炎治療薬の歴史です。その中でも核酸アナログ製剤、肝庇護薬を中心に記載しています。最後までご覧頂ければ幸いです。



Q. 核酸アナログ製剤とはどのような薬剤でしょうか？

A. B型肝炎ウイルスが増殖する際に必要なDNAの合成を阻害することで、ウイルスの増殖を抑制する薬剤です。

(①エンテカビル②テノホビルアラフェナミド)

①エンテカビル (バラクルード®)

エンテカビルは1日1回空腹時に服用する薬剤です。

Q. 空腹時とはどのタイミングで内服することでしょうか？



A. 一般的に食事の2時間以上後、かつ次の食事の2時間以上前とされています。

Q. なぜエンテカビルは空腹時の必要があるのでしょうか？

A. その理由はエンテカビルは食べ物によって、吸収が低下してしまう薬剤だからです。

よって食べ物と同時に内服すると、本来の薬剤の効果が十分に発揮できなくなってしまう可能性があります。また食事の他にもお菓子など、間食の影響を受ける場合もあります。内服タイミングについてお困りのことや、疑問がある際には、医師や薬剤師にご相談下さい。



② テノビルアラフェナミド(ベムリディ®)



- ・1日1回、食事に左右されずに服用できる薬剤です。
- ・2014年に発売されたテノビルに比べて、腎機能障害や骨密度低下が少なく、肝細胞へ効率的に取り込まれるように改良された薬剤でプロドラックとされています。
- ・副作用としては吐き気、頭痛、腹部膨満感、むくみがあり、気になる症状が生じた際には直ぐにお知らせ下さい。

※テノビルアラフェナミドと併用してはいけない薬剤※
セントジョーンズワート含有食品、リファンピシン(抗結核薬)

⑨. セントジョーンズワート含有食品とは？

①. セイヨウオトギリソウと言われる植物の一種です。

ストレス緩和作用があり、サプリメントやハーブティーに含まれている場合があります。ハーブティーやサプリメントを服用の際には薬剤師にご相談下さい。



セイヨウオトギリソウ

グリチルリチン酸製剤



- ・甘草(マメ科の植物の根より抽出された天然成分)が主成分です。
- ・効能効果は肝機能改善(肝細胞の障害を抑える作用や肝細胞増殖促進作用)や、抗炎症作用(抗アレルギー作用、炎症を伝える伝達物質の阻害作用)があります。
- ・副作用としては消化器症状や稀に偽アルドステロン症があります。

⑨. 偽アルドステロン症とはどのような症状でしょうか？

①. 血圧を上昇させるホルモン(アルドステロン)が上昇していないにもかかわらず、高血圧や、むくみ、カリウム喪失などが出現することです。

症状としては「手足のだるさ」、「しびれ」、「つっぱり感」、「こわばり」がみられ、これらに加えて、「力が抜ける感じ」、「こむら返り」、「筋肉痛」などがあります。



※併用に注意して下さい※

漢方薬(芍薬甘草湯、葛根湯、防風通聖散、麦門冬湯など)

併用により本剤に含まれるグリチルリチン酸が重複し、偽アルドステロン症が出現しやすくなる場合があります。現在内服中の漢方薬がある場合や、新たに漢方を飲み始める際には、薬剤師にご相談ください。

ウルソデオキシコール酸



- ・ウルソデオキシコール酸の由来は動物性生薬「熊胆(ユータン)」「ツキノワグマの胆嚢胆汁を乾燥させたもの」とされています。
- ・効能効果は胆汁の流れの滞りを改善し、胆汁分泌を促進させて胆石症などを改善したり、慢性肝疾患の肝機能の改善、コレステロール系胆石の溶解作用があります。
- ・副作用としては間質性肺炎、下痢、悪心、食欲不振、便秘、胸やけ、胃不快感などです。

B型肝炎治療薬について記載させていただきました。今回ご紹介できたのはほんの一部ですので、気になる薬剤がある際にはお気軽にご相談下さい。最後までご覧頂き、ありがとうございました。